

立命館大学国際平和ミュージアム開館25周年記念  
2017年度秋季特別展

# 儀間 比呂志 版画展

— 沖縄への思い —



「沖縄のさげび 蛇皮線」1960年頃

2017年 11月1日(水)～12月23日(土)祝

前期/11月1日(水)～11月26日(日) 後期/11月28日(火)～12月23日(土)祝

※前後期で一部展示替えがあります。

立命館大学国際平和ミュージアム1階 中野記念ホール

[主催] 立命館大学国際平和ミュージアム  
[後援] 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、  
京都市内博物館施設連絡協議会、  
NHK京都放送局、KBS京都、朝日新聞社、京都新聞、  
毎日新聞京都支局、読売新聞社

立命館大学  
国際平和ミュージアム  
Kyoto Museum for World Peace,  
Ritsumeikan University



京博連

# 儀間比呂志版画展 — 沖縄への思い —

1923年沖縄に生まれた儀間比呂志氏は、1940年から北マリアナ諸島テナン高で過ごしました。1943年に帰国し、その後出征。配属先の横須賀で敗戦を迎えました。戦後の混乱の中、アメリカ軍政下の沖縄へは戻らず、復員列車の終点であった大阪に居住。1946年から6年間、大阪市美術研究所で油絵を研修後、上野誠に木版画を学び制作活動を始めました。1956年には13年ぶりの沖縄で最初の個展を開き、以後定期的に開催。沖縄への取材を重ねながら、人々の暮らしや祭の姿など故郷沖縄の風景を作品にしました。

1970年以降は、作品の普及や力強い表現力を求め木版画に専念。この頃、住民の証言記録に接し、沖縄戦を描くようになりました。数々の画集や絵本の出版、日本各地で開催した展覧会を通じて作品を発表し、2017年4月に亡くなるまで沖縄への思いを伝え続けました。

本展では、2016年に寄贈された奥田豊氏の旧蔵コレクション68点を紹介し、沖縄返還から45年を迎えた本年に、沖縄戦と戦後の沖縄が直面する課題に私たちがいかに向き合うべきかを考えます。

## 【主な受賞歴】

- 1959年 行動美術展新人賞、1966年 同会友賞
- 1971年 毎日出版文化賞、1976年 サンケイ児童出版文化賞
- 1980年 沖縄タイムス芸術選賞絵画部門大賞
- 2012年 琉球新報賞、沖縄県功労者



「尽忠報国」1979年頃



「アリアンの歌」1991年頃



「もうたくさんだ」1979年頃



「赤いソテツの実より」1975年頃



「那覇の市場」1977年頃

2017年

11月1日(水)～12月23日(土)祝

前期/11月1日(水)～11月26日(日)

後期/11月28日(火)～12月23日(土)祝

※前後期で一部展示替えがあります。

【開館時間】 9:30～16:30(入館は16:00まで)

【休館日】 月曜日、11月4日(土)、24日(金)

【参観料】 大人 400円(350円)

中・高生 300円(250円)

小学生 200円(150円)

※上記( )内は20名以上の団体料金です。

※常設展もあわせて見学いただけます。

関西文化の日 11月18日(土)・19日(日)

無料で入館いただけます。

## 関連イベントのお知らせ

三線演奏「南洋諸島で響いた三線の音」(仮)

11月3日(金・祝)14:00～

立命館大学国際平和ミュージアム 1階ロビー

出演：栗山 新也 氏

日本学術振興会特別研究員

(国際日本文化研究センター所属)

※イベントの参加は無料・申込不要です。

※他に関連講演会等を予定しています。

※イベント予定の詳細はHPにてお知らせします。



## 交通案内

■市バス12・15・50・51・55・59・M1、

JRバスにて「立命館大学前」下車/徒歩5分

■市バス204・205にて「わら天神前」下車/徒歩10分

※お車での来館はご遠慮ください。

立命館大学  
国際平和ミュージアム

Kyoto Museum for World Peace,  
Ritsumeikan University

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1

TEL.075-465-8151 FAX.075-465-7899

http://www.ritsumeikai.ac.jp/mng/er/wp-museum/

国際平和ミュージアム公式ツイッター @kmwp\_PR